

Report and Future Outlook of the Health-Promoting Educational Activities Using the Vacant Store in the Commercial Facility (Second report) : Keep Habilitation in Shunan!

○万田 祥秀¹⁾, 二見 信次¹⁾, 岩崎 しのぶ¹⁾, 打道 京子¹⁾

1) 医療法人社団生和会周南リハビリテーション病院

【はじめに】

Keep Habilitation in Shunan! 実行委員会は、「地域のみんなで安心と生きがいを創り出す」という理念のもと、地域包括支援センター、市役所、社会福祉協議会や地元の大学・団体から集まったメンバーを中心に活動を行っている。第1回の活動として2019年3月に地域住民の健康に対する意識向上をはかるためのイベントを商業施設の空き店舗を使用して開催。InBody、ロコモチェック、血管年齢・血圧測定、健康相談を行い来場者数は94名であった。その後も、新しい協力者を得ながら活動を継続することができたためここに報告する。

【活動】

商業施設、イオンタウン周南の空き店舗を使用。毎月15日に予定されているG.G感謝デーに合せてイベントを開催した。4/15 10:00-15:00 内容：InBody、Q'z TAG walk plus、血圧・血管年齢測定、健康相談 5/15 10:00-15:00 内容：InBody、カイロプラクターによる姿勢評価、歯科衛生士による口腔健康相談、血圧・血管年齢測定 今回は、前回のイベントの様子をまとめた映像やQ'z TAG walk plusの測定結果をスライドショーにまとめて会場内で上映した。

【結果】

①では来場者数は121名。転倒予防学会が推奨するQ'z TAG walk plusのブースは約80名の参加があり、測定後に理学療法士による助言を行った。来場者からは「歩行のバランスが思っていた以上に崩れていて驚いた、運動習慣を見直したい」といった意見があがった。②では来場者数は102名。歯科衛生士相談ブースでは、口腔に関する悩みや義歯に関する相談等多くの来場があった。カイロプラクターブースにも姿勢に関する相談が多数あり、個別に助言が行われた。

【考察】

100名を超える参加が続いていることは、実行委員会に所属する多職種、多機関それぞれの強みを生かした企画を考案していることが1つの要因であると考えている。転倒予防に携わる者としては、この活動を通じて、転倒の内的要因と言われている病気や疾患、加齢による筋力低下や身体機能の低下等の危険性や予防の重要性を地域住民に伝えていきたい。今後も地域住民個々の特性に応じた健康づくりや生きがいづくりを支援するためには、医療・介護・福祉・教育に携わるものだけではなく、地域の民間企業の参加も必要であると考えている。そして、イベントを通じて地域住民の健康意識を高め、自ら健康づくりの活動に取り組み、元気に生活してもらうことが、地域の活性化にも繋がると考えている。

【倫理的配慮】

本研究は人または動物を対象とした研究であり、倫理委員会の承認を得ている。

【COI】

本研究は利益相反に関係しない。